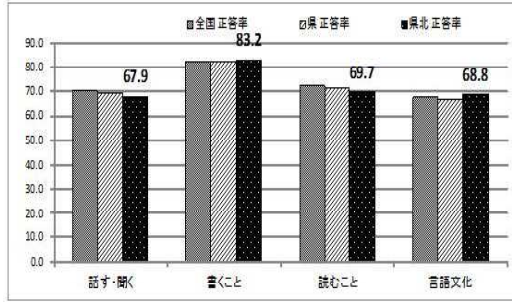


国語(中学校)

※ 領域別の正答率(値は県北地区)

※ 正答率の比較

正答率	H31(R1)	全国比
県北	71.7	-1.1
県	72	-0.3
全国	72.8	



【正答率から見た成果】

- 文章に表れているもの(短歌)の見方や考え方について自分の考えをもつ。[1]三
- 伝えたい事柄が読み手に分かりやすく伝わる表現になっているか検討(推敲)する。[3]一

【正答率から見た課題】

- 話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ。(条件作文) [2]三
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。(必要な情報を不足なく取り出す) [1]二
- 文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつ。[1]一

<正答率の低かった問題> 例:[2]三

◇ 話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつ(「話すこと・聞くこと」)

三 場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていなくて、実際に話すように書き加える」という考えを述べています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書き加えてください。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなくて」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていなくて」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

場面②

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいついたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

西野さん: ネットにそのようなニュースが出ているですね。掲示物を注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にはどうでしょうか。

倉田さん: そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合わないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さん: 山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

西野さん: 賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

倉田さん: ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていなくてあります。

場面③

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

一 生徒会が地域で行っていることについての展示  
・高齢者向けの施設での交流会の様子  
・地域の清掃活動の様子

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

「話し合いの話題や方向を捉えて、的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること」(第1学年「話すこと・聞くこと」)に関連する問題です。上記の囲み(A)「土足禁止」の表現を「ふさわしい表現にするにはどのように直したらよいか」また、(イ)「どうするか決まっていなくて」は何かの二点を踏まえ、実際に話すように書くことができた生徒は57%でした。

<学習指導にあたって>

ポイントは、「話し合いの話題や方向を捉えて話す力」の育成です!

- 話題や話の方向を的確に捉えて、自分の考えを話すために
  - ・ 話し合いの経過を踏まえ、必要に応じて発言内容を確認したり、話題を絞り込んだりする。
- 伝えたい相手のことを考え、ふさわしい表現にするために
  - ・ 伝えたい相手に応じたふさわしい言葉遣いや適切な語句を選び、自分の考えを話す。

【「ふくしまの授業スタンダード」との関連】

- ★ 根拠や理由を明確にして自分の考えを話す学習活動を指導過程の中に位置付けましょう。
- ★ 相手の発言に自分の考えを付け足したり、他者同士の発言を結び付けて話したりしましょう。